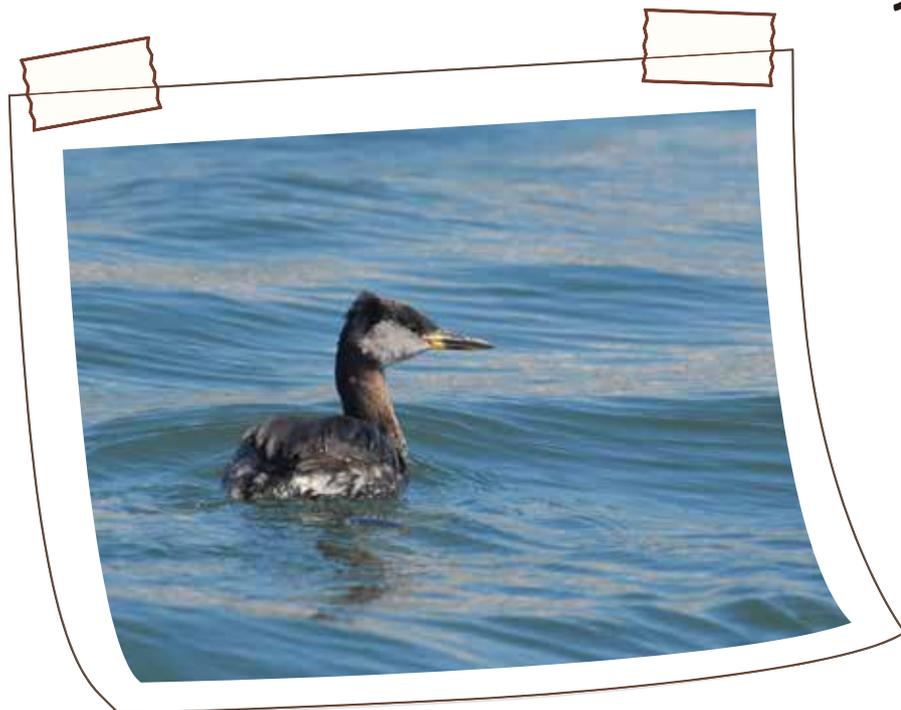




ネイチャーセンターだより

2016年11・12月号

いきもの図鑑



アカエリカイツブリ (カイツブリ科)

学名 Podiceps grisegena

【蒼灰色の頬をしたしりから足がでてるヤツ】

英名 Red-necked Grebe

根室では冬期に、漁港や海で水面に浮かぶ姿を目にすることができる。冬羽は白と黒の地味な色をしているが、3月下旬頃から徐々に喉もとが赤くなる。成鳥の夏羽は非常に美しい。カイツブリより一回り大きく、首も長いいため見間違えることは少ない。多くはロシアなどで繁殖するが、少数が北海道でも繁殖する。根室近辺では、別海町の茨散沼で繁殖していた記録があるが、近年は繁殖していない。

【11月】

風蓮湖ではたくさんのオオハクチョウやカモの仲間がみられます。カモは秋から冬にかけて換羽し、雄は11月頃からメスにアピールするために美しく目立つ繁殖羽になります。オオハクチョウの飛来数は風蓮湖と温根沼を合わせると3000～4000羽にも達します。



オオハクチョウとカモの群れ

11・12月の見どころ



オオワシ



イスカ

【12月】

オオワシやオジロワシの数が増え、風蓮湖周辺で見やすくなってきます。積雪が増すと、夏に森の奥で暮らしていた小鳥類が自然学習林などにも飛来し始めます。まれに、ギンザンマシコやハギマシコ、イスカなどを見かけることもあるでしょう。

見どころMAP

カワラヒワなどの種子を食べる鳥たちが集まります。

葉っぱが落ち、シジウカラやゴジュウカラなどの小鳥類が見つかりやすくなります。

オオハクチョウやカモがみられます

キタキツネコースおよびアカエゾマツコースの一部を工事しています。

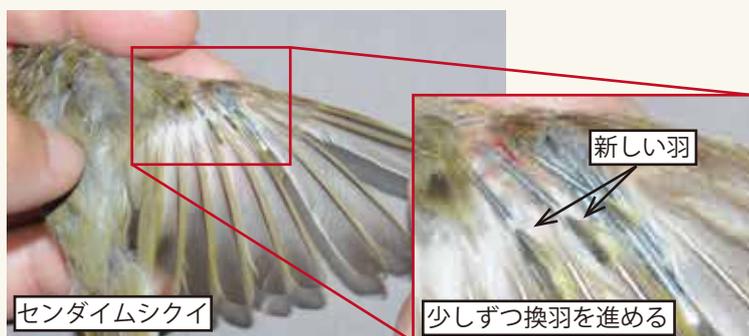
湿原で採餌するタンチョウもそろそろ見納めの時期になりました

- 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路 (アカエゾマツコース0.5km、約15分)
- ⊗ 通行止め
- 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
- 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
- 🏠 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
- ★ 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

鳥たちの換羽

トピックス

鳥たちの羽が定期的に生え変わることをお話すると、ぜんぜん知らなかった！という声を聞くことがしばしばあります。哺乳類が夏毛から冬毛に生え変わるように、鳥類の羽も夏羽、冬羽というように生え換わります。写真のオオジュリンは、繁殖期の雄が雌にアピールするため派手な色の羽になり、繁殖期が終わると捕食者から見つかりにくいように地味な色の羽に生え換わります。鳥類にとって空を飛ぶために必要不可欠な羽ですが、その羽が生え換わる時期は飛べなくなってしまうのでしょうか。実は鳥の換羽の仕方は種類によって様々です。山野に暮らす鳥などでは、飛べなくならないように少しずつ換羽を進めるようです。一方カモの仲間や泳ぐことが得意なアビと呼ばれる海鳥の仲間では、翼の羽が一斉に抜け落ち飛べなくなってしまう。現在風蓮湖にはカモがたくさん飛来しています。よく見ていると、たまに翼をばたつかせることがあるので、羽の状態にも注目してみてください。換羽中のカモに出会えるカモ！？



今年も開催！ネイチャーセンターまつり

10月2日（日）に毎年恒例のネイチャーセンター祭りが開催されました。このイベントは、ネイチャーセンターのボランティアグループ「スंक」が企画しているものです。今年のプログラムは、ネイチャーゲーム、おが粉アート、パステルアートの3つです。ネイチャーゲームでは、自然の中に溶け込んだ人工物を探し、見つけやすかったものや見つけづらかったものをみんなで確認しあいました。ゲームを通して生き物の形や色が、自然の中に溶け込む擬態やあえて目立つようにしている警戒色などの意味があることについて楽しく学びました。おが粉アートやパステルアートでは、動物やハロウィンなどをモチーフにした作品作りをみんなで楽しみました。



特定外来種を考えよう

10月15日、特定外来種のウチダザリガニを捕獲する活動を、根室ライオンズクラブが明治公園のひょうたん池で行いました。ウチダザリガニは、人がアメリカから食用のために持ち込んだ外来種です。大型のザリガニで川や湖に住み、小魚や貝を食べます。もともとそこに暮らしていた生きものの住みかや食べものを奪ってしまうことが問題となり、各地で外来種の駆除活動が行われています。今回は捕獲する2日前から網を10個仕掛けました。当日は、約210匹のウチダザリガニが捕獲でき、そのうち抱卵していたメスは8匹でした。ウチダザリガニ1匹が産む卵は100~500個と言われているので、今回の活動はウチダザリガニの数を減らすのに効果的でした。こ



れからもネイチャーセンターは、根室の環境保全を進める活動を応援していきます。

春国岱クイズ

こた うらめん
答えは裏面をみてね！

ほっかいどう
北海道にはトガリネズミという、ネズミとモグラの中間ぐらいの生物が暮らしています。そのなかにはトウキョウトガリネズミという名前なまえの種類しゅるいがあります。しかし、このトガリネズミは北海道にしか暮らしていません。なぜトウキョウという名前なまえが付ついているのでしょうか。



トガリネズミの仲間（ヒメトガリネズミ）

- ひょうほん さいしゅうち えぞ えど
A. 標本の採集地を、蝦夷と江戸
まちが
で間違えたから
とうきょうしゅっしん ひと はっけん
B. 東京出身の人が発見したから
むかし
C. 昔は東京にも暮らしていたから

イベント情報！

観察会などへの参加申込み、お問い合わせは春国岱ネイチャーセンターへ
電話（0153-25-3047）もしくは直接のご連絡をお願いいたします。



開催日時	行事名・内容	参加費	お申し込み方法など
11月6日（日） 10:00～12:00	オオハクチョウとカモ観察会 根室市の鳥にもし呈されているオオハクチョウが今年もやってきました！風蓮湖にはたくさんのカモの仲間も飛来しています。水面に浮くカモたちはあまり動かず、バードウォッチングに最適です。この機会にカモの魅力を探ってみましょう！	100円 （保険代）	・定員：20名先着（要申込） ・対象：子供・大人 （小学生以下は保護者同伴） ・集合：ネイチャーセンター ・持ち物：暖かい服装。飲みもの、あればカメラ、双眼鏡 ※雨天中止
12月4日（日） 13:30～15:00	トークイベント 中国のツル （仮題） フィールド講座② 釧路のタンチョウ保護研究グループの皆さんに、同じツルでもタンチョウとは暮らしが異なるツルの仲間を紹介していただきます。また、中国で行われたタンチョウに関する環境教育についてもお話していただく予定です。 講師はタンチョウ保護研究グループ代表の百瀬邦和さんと高田令子さんです。	無料	・定員：40名先着（要申込） ・対象：中学生以上 ・場所：ネイチャーセンター ・持ち物：特に無し

スルク活動報告

ネイチャーセンターのボランティアグループ「スルク」は、毎月第4火曜日に定例会を開いています。夏から準備を進めていたネイチャーセンターまつりが無事に終了したので、再び自然学習林の自然情報収集や樹名板の設置を進めていく予定です。ボランティア活動はどなたでもご参加できます。興味のある方は、ネイチャーセンターまでぜひお問合せください。



← こんな樹名板をつくってます。

フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- 春国岱入り口駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp

URL. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

◆11月休館日：2日、4日、9日、16日、24日、25日、30日

12月休館日：7日、14日、21日、26日、28日、30～1/5

開館時間：9:00～16:30

◆団体でご利用の方へ

自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。

（要事前申込）



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録